

もくじ

1 目次

2 特集

春の陽気に誘われて  
～ぶらり散歩、加古川寺社めぐり～

7 クローズアップ

「加古川になくてはならない団体に」  
加古川商工会議所青年部  
会長 永戸 潤 さん

9 エッセイ

「犬と歩く 人生散歩」  
(株)ごくらくや  
監査役 大西 由美子 さん

10 会議所のうごき

新規会員のご紹介 他

13 団体だより

青年部・女性会

15 会議所からのお知らせ

「印刷物入札」 他

16 会議所カレンダー

「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙  
『エボルオ(株)』

事業所データ

◆代表者

代表取締役 あなだ しゅういち  
穴田 彰一

◆所在地

〔本社事務所〕加古川市平岡町一色東  
2丁目487-4  
〔かぐや農園〕加西市大村町54

◆電話

〔本社事務所〕079-497-5518  
〔かぐや農園〕0790-48-2520

◆ホームページ

<https://www.evolo.jp/>

◆表紙写真



- ①完熟の甘いいちごがありますよ！  
(左が穴田社長)
- ②毎日、間引きなどの丁寧な作業を欠かしません
- ③高設栽培なので、足腰にもやさしい。  
いちごも傷みにくく清潔です
- ④甘くてジューシーないちごが40分食べ放題。
- ⑤直売所ではジャムなどの加工品、いちご70%の濃厚ジェラートも。

甘へんジェリーなごちやをゆひねー

白い花のまわりを受粉のために飛ぶミツバチ、そして甘酸っぱいいちごの香りが広がるハウス内、「天気の良い日は、一日であつという間に赤くなるんですよ」と話すのはエボルオ(株)の穴田彰一社長です。

サラリーマンの頃から農業に興味を持っていた穴田さんは、趣味の一環として農業スクールに1年間通い農業の面白さを再認識し、いちご農園を経営することを決意します。そして条件に合う場所を探し、観光農園なら、ハウスでの高設栽培(地面から1mほど)がいろいろと考え、灌水設備と室温調整のための開閉設備など自動化を導入し、2016年に加西市にいちご農園『かぐや農園』をオープンしました。

「ハウスでの高設栽培は、腰をかがめずに済み作業効率もアップし、自然環境の影響を受けずに育てられるので、安定した品質のいちごが作れます。いちご狩りも12月～5月まで楽しめる、どの時期にお越しただいても美味しいいちごが食べられます」と、生産者とお客様双方にとって最善の栽培方法と言えます。

今春2名の新入社員が入社した同社。「機械で自動管理といっても生きている植物の微妙な変化を感じ取れるのは人間です。学校で農業の専門知識を学んだ人が入ってきてくれたのは嬉しいこと。いちご農家も高齢化が問題となっているなかで、やる気をもって当社の扉を叩いてくれた彼らには期待しています」と微笑みます。

かぐや農園では現在、甘さ重視の『章姫』や香り高い『かおり野』、兵庫県オリジナル品種でポリウム感のある『紅クイン』など5種類のいちごを育てており、リピーターを飽きさせない工夫として毎年1種類は入れ替えているそう、来季は白いいちごも入れようと決めているのだとか。

「コロナ禍で予約キャンセルが相次いだり、受粉の役目を果たすミツバチが減少傾向にあるなど悩みは尽きませんが、当園のいちごを楽しみに来られるお客様がいっぱいいらっしゃる、社員一丸となって美味しいいちごを作り続けていきます。また当園には年中利用可能なBBQコーナーもあり、これからの季節はBBQといちご狩りの両方を楽しみお客様もいらつしやいます。貸し農園や大根収穫体験も実施していますが、毎年新しい体験ができて楽しんでもらえるようにしていきたいですね」

春の陽気のなか、いちごに囲まれた、美味しいひとときを過ごしませんか。